

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 14 日

事務事業名		普通財産維持管理事業						事業区分		担当	
政策体系上の位置付け								新規/継続	継続	事務事業No.	010102000049
								単独/補助	単独	所属課	020201
政策体系	総合計画の施策名		0101		計画的・効率的な自治体運営の推進			主要事業	対象外	グループ	財政課
	政策名		01	市民と行政による豊かな地域の自治づくり			市長マニフェスト	対象外			
	施策名		01	計画的・効率的な自治体運営の推進			未来PJ事業	対象外			
	基本事業名		02	効率的な事務事業の推進			合併建設計画事業	対象外			
財務会計上の位置付け								事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し（平成17年度～）			
	01	02	01	07	01	00	財産管理事業	↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
法令根拠											

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	【事務事業の内容】 普通財産の維持管理を行う 市有財産の有効活用を図るため市有地及び建物の維持管理及び売却・賃借をおこなう
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	・市有地の除草作業及び伐採作業 ・賃貸契約及び請求事務 ・売買契約及び登記事務 ・不用品の検討及び処分 ・維持管理及び委託契約事務 ・財産審議会の開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
普通財産の適切な維持管理	公売件数	件	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	除草作業日数	日	6.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
普通財産	土地面積	㎡	189,244.00	189,244.00	189,244.00	189,244.00	189,244.00
	未活用市有地面積	㎡	90,369.97	90,369.97	90,369.97	90,369.97	90,369.97
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
未活用市有地の有効活用	売却面積	㎡	420.03	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	14,398	20,265	22,381	20,057	20,000	0
	事業費計（A）		千円	14,398	20,265	22,381	20,057	20,000	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	3.00人	3.00人	3.00人		
		述べ業務時間	時間	1,154.00	1,135.00	1,135.00	1,135.00	1,135.00		
		人件費計（B）	千円	3,348	3,293	3,293	3,293	3,357		
トータルコスト(A)+(B)		千円	17,746	23,558	25,674	23,350	23,357			
事業費の内訳	28年度事業費 実績（千円）					29年度事業費 予算（千円）				
	O1 報酬	36				O1 報酬	36			
	11 需用費	9,659				11 需用費	9,626			
	13 委託料	3,319				13 委託料	5,925			
	14 使用料及び賃借料	7,172				14 使用料及び賃借料	6,794			
	19 負担金補助及び交付金	79								
				合 計	20,265				合 計	22,381

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業				

事務事業名	普通財産維持管理事業	事務事業No.	10102000049	所属課	財政課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 普通財産の適正な維持管理を行い、不要な財産の処分をする	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 除草作業は早めに実施してほしい 市有地の公売金額が高い	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	借地を返し市有地の有効活用をする。又、企業誘致、社宅地等を含め貸地等の検討をする。 不用地の公売をすすめる。また公売できない土地の一般への貸し出し等の検討をする。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 適切な管理・処分等により維持費の削減および、市有財産の有効活用となることは、計画的な事務事業の推進に結び付く。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公有財産のため、市が行なうことは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 不用財産の処分をすすめることで、向上の余地がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 財産の適正管理ができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 職員も作業をしており委託費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 職員も作業をしており委託費の削減は難しい。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 維持管理業務は職員で行ったが職員だけでは限界があり市民の要望に対応しきれない。																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 委託できるものは委託して維持管理を図る。また遊休地の処分検討をする。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	③																					
		コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>